



少年海外体験学習事業 「バンコク友好の翼」

国際社会で活躍できる人材を育成する

社会のグローバル化が急速に進展する一方、日本の若い世代の「内向き志向」が指摘されています。こうした状況を背景に、「グローバル人材」の育成が学校教育において強く求められるようになってきました。国家戦略室のグローバル人材推進会議では、「グローバル人材」に求められる要素として「異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ」をあげています。

「異文化に対する理解」はまず、自分とは異なる自然・社会環境のもとで営んできた人々の暮らしや文化などに興味・感心を持つこと、そして実際に体験することから始まります。

上毛町では、総合計画に「学校教育の充実と国際交流の推進」を掲げ、国際的な視野と物の見方・考え方ができる青少年の育成を図るため、旧新吉富村は平成2年度から、旧大平村は平成9年度から少年海外体験学習事業を実施し、これまでに675名の小中学生が参加しています。

事業の内容については、毎年度開催される上毛町国際交流推進協議会※において、本体験事業が効果的に行われているのか、安全性は確保されているのかなど十分審議し、決定しています。

※上毛町国際交流推進協議会は、以下の構成員で組織され、外国語教育の充実と国際人たる人材の育成を図り、国際交流を推進することを目的に設置され、国際交流に係る諸事業の審議を行います。

●構成員 町長、議会議長、教育委員会代表、小中学校長、PTA会長、子ども会育成協議会会長、自治会長、学識経験者、教育長



THAILAND



アジア諸国に目を向け ～バンコク友好の翼～

これまでニュージーランドやオーストラリアなど4カ国に渡航し、現地の小学生との交流やホームステイ、文化施設などの視察研修を行ってきました。平成27年度からはアジア諸国に目を向け、研修先をタイ王国バンコク都に変更し、様々な交流事業を展開しています。



交流相手

チュラロンコーン大学附属小学校※

スケジュール

- ・事前研修(6月～8月／全5回 1泊2日研修を含む)
渡航前にタイの文化・生活習慣、外国語、渡航に当たっての注意事項などを国内にて学びます。
- ・渡航研修(8月中旬 5泊7日)
バンコク現地にて、チュラロンコーン大学附属小学校との学校交流、日本企業のタイ工場での社会見学、王宮などの文化施設見学などを行います。また、ホームステイを通じてタイの生活習慣を学びます。
- ・事後研修・研修報告会(9月中)
バンコクへの渡航研修を通じて、現地で体験し、学んだことを模造紙にまとめ、保護者や教員、国際交流推進協議会委員などの関係者の前で発表します。
- ・訪日交流(10月初旬 7泊8日)
チュラロンコーン大学附属小学校が訪日し、ホームステイの実施や町内小学校と交流を行い、友好を深めます。

協力団体

タイ国政府観光庁、福岡県バンコク事務所、立命館アジア太平洋大学、慶應アカデミー

※チュラロンコーン大学は、1917年に設立されたタイ王国において最も古い歴史を持ち権威ある国立大学で現在学部数15、学生総数1万8460人、専任教員数2416人で、タイ最大の総合大学であり、多数の研究施設を抱える、非常にレベルの高い大学です。附属小学校は、大学と同じ敷地内に設置されており、1～6年生まで各学年ともに7クラスあり、全校児童は約1,600人です。